

平成27年度 子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 家庭の教育力を高める 「ファミリーキャンプ冬の陣」

1 趣 旨 自然体験活動を通して家族の絆を深め、家族相互の交流を図る。

2 期 日 平成27年12月12日(土)～13日(日) 1泊2日

3 対 象 者 キャンプや自然体験に興味のある家族

4 募集定員 12家族(50名程度)

5 参加者 17家族, 56名(応募者: 22家族, 78名)

6 指導者 国立大隅青少年自然の家職員
ボランティア2名

7 日程と主な活動

時 刻	12月12日(土)	時刻	12月13日(日)
15:00	テント泊受付(太陽の家)	6:00	起床・部屋の整理・テント撤収
15:30	テント設営	7:00	朝のつどい
16:40	本館泊受付(本館)	7:20	退所点検
17:00	出合いのつどい	8:00	朝食(レストラン)
17:30	入浴	9:10	創作活動 『大人も子供もプラ板クラフト』
18:30	夕食(レストラン)	11:00	アンケート記入
19:30	スターウォッチング 講師: 輝北天球館館長 竹井高志氏 「冬の星座の学習」「星座観察」	11:10	別れのつどい
22:00	就寝(本館宿泊棟・テント泊)	11:30	解散

8 事業運営について

本事業は、親子のふれあいや家族相互の交流ができるように、季節に応じた自然体験や創作活動を位置付けてプログラムを計画した。

(1) 「冬の星座」に関する講話と星座観察を通して、天体に関する興味・関心を高め、親子で自然体験活動ができるようにした。

(2) テント設営・テント宿泊の活動やクラフト活動などのグループ活動を通して、家族間の絆を深めたり、家族相互の交流を図ったりできるようにした。



9 事業の実際

(1) テント設営

太陽の家で受付後、テント宿泊を希望された家族毎に設営を行った。親子や子供同士で協力して楽しく活動することができていた。また、早く終わった家族は、設営



途中の家族の手伝いを進んで行い、家族相互の協力も見られた。

(2) 講話「冬の星座の学習」

講話は、輝北天球館館長の竹井高志先生を講師として招聘し、「冬の星座の学習」というテーマで講話をいただいた。冬の星座の見つけ方、ふたご座流星群の観察方法などについて資料を提示しながら分かりやすく説明していただいた。話を聞いた後に質問をする子供もいて、学習意欲の高さに感心した。

(3) 天体観察

講話後の観察は、あいにくの曇天模様であったが、雲の合間から見える冬の星座を講師の先生と一緒に確かめながら行った。その後、双眼鏡を使って各自でプレアデス星団の観察を行った。目が慣れてくると肉眼でも多くの星が出ていることを確認することができたが、雲がかかっている分、残念であった。

(4) 創作活動「大人も子供もプラ板クラフト」

2日目のクラフト活動は、大人も子供も楽しめるように、材料をセレクトしたり、レジンで仕上げをしたりできるように工夫をした。作りたいものに合わせて選択をし、創意工夫をすることによって、よりオリジナリティを出した作品が仕上がっていた。

10 成果と課題 (○成果●課題)

- 天体に関する専門的な知識を、映像等を使って分かりやすく説明していただいたり、実際に天体観測の指導を直接していただいたりしたことで、宇宙への興味・感心を高めることができた。
- テント泊を希望された家族の中には、初めて体験される方がおられた。冬でもテント泊の体験活動の機会を設定したことで、より多くの方に楽しんでもらうことができた。
- 参加した家族は、今回実施した自然体験活動（テント泊や星空観察）、創作活動、生活体験などの体験活動とおして、家族の絆を深めたり、参加者相互の交流を図ったりすることができた。

11 参加者の感想

- いつも家庭では体験しがたい貴重な体験をさせていただき大変感謝しています。
- 流星群が見られなかったのは残念ですが、自然相手のことなので仕方ないですし、他のことに関しては、楽しく色々経験させていただきました。
- とても楽しかった。星が見られなかったのは残念でしたが、次回また参加したいです。
- 家族で楽しめました。ありがとうございました。

